PICK UP

THE PERSON

㈱ T-TRAD
代表取締役

廣瀬竜也

KEY WORD

愛
— ai —

大手運送会社の定期運送やネット通販等の小口荷物の配達など全国的に幅広く手掛ける『T-TRAD』。
廣瀬社長が何よりも重視しているのは「居心地の良い会社づくり」だ。
同社ではスタッフのライフスタイルを尊重し、働き方のニーズに応えている。
「運送業は思いのほか人と接する仕事であり、半分は接客業のようなもの」。
そう話す社長は定期的にスタッフとコミュニケーションを取り、
不満があれば改善に尽力するなど日頃からスタッフたちと近い距離にいる。
今や100名を超えるスタッフたちに、社長は今日も愛情をもって接している。

「会社づくりで最も大切なのは、いかに皆が居心地よく働けるか」

© 2021 USP-Management Co., Ltd.

ワークライフバランスを尊重し“働きやすさ”を追求する運送会社

大手運送会社の定期的な輸送から、ネット通販等の小口荷物の配達までを担う『T-TRAD』。同社は集荷、代引き、着払いなど各種サービスにもきめ細かく対応している。また、チャーター便やスポット便も請けており、いざという時に頼れる存在だ。本日はタレントの布川敏和氏が同社を訪問。廣瀬社長にインタビューを行った。

（タレント）

「ワークライフバランスを重視し、スタッフさんにとっての働きやすい環境を一番に考えているという『T-TRAD』さん。廣瀬社長のそんな温かい会社作りで、これからも良い人材が集まる、笑顔の絶えない会社にしていってほしいですね」

guest comment

株式会社 T-TRAD

千葉県四街道市鷹の台 4-1-5
URL：http://t-trad.co.jp/

T-TRAD Co.,Ltd.

——まずは廣瀬社長の歩みから伺います。

千葉県の船橋市出身です。幼いころは千葉県内を転々としていて、小学6年のころに東金市に落ち着きました。東金市でも九十九里浜に近いほうで、現在も自宅はそちらにあるんです。

——そちらでは、どのような青春時代を過ごされたのですか。

私の父が運送業を営んでおり、その影響もあったのかもしれませんが、私は車やバイクなどモーターの付いたものが幼いころから好きでした。当時は学生時代はうどん屋さんや新聞配達のアルバイトなどをして、お金を貯めてそれらを買っていたほどんですよ。

——ほう。では学業修了後は家業に入られたのですか。

いえ。船橋にある運送会社に就職しました。身近に見ていたトラックに自分も乗りたくて（笑）。最初はトラックの助手ドライバーからスタートしたんですよ。その後、20代半ばのころトラックを購入し独立。そこから徐々に仕事もスタッフも増やしていきました。そして2019年に、事業が軌道に乗ったこともあり法人化しました。日々一生懸命頑張ってくれているスタッフのことを考えれば、そのほうが良いですからね。

——スタッフのため法人化まで果たされるとは、社長は人思いでいらっしゃる。現在スタッフさんは何名くらいで？

社員が7名と、業務提携のスタッフが約100名います。業務提携のスタッフは、ドライバーだけでなく倉庫の管理についても重要な戦力になっているんですよ。また、協力会社からも人材が入ってくれているなど、当社では様々な働き方のスタッフの連携で成り立っているんですよ。たとえば、ある方はYouTuberをしながら、週に数日ここで働いていますし、またある方はプロのカメラマンで、月の半分だけここで働いています。

——働き方の多様性が重視される昨今ですから、御社のスタイルは働く側もありがたいですね。

若い人を中心に、最近では働く時間や収入を自分で決定する、いわゆるフリーランス志向が増えたと感じます。そういった点では、運送業は比較的ダブルワークがしやすい業種なのでしょうね。最初はフリーランスで入り、結婚などのライフステージの変化に応じて正社員を選ぶ、といった人もいますよ。

——御社は、そういった「働き方」のニーズに応え、様々な立場の人材をまとめておられるわけだ。

ありがたいことに、当社は人に恵まれていると感じます。長く働いてくれる人が多いですし、新しい人はスタッフが紹介して連れてきてくれますから、人手不足を感じていません。皆がとても頑張ってくれていて、すごく助かっています。離職率も今のところ少なく、今では親子で働いてくれているスタッフもいるんですよ。

——それはすごい。親子二代で働きたいとは、よほど居心地が良いのでしょうね。

私は利益以上に居心地優先。会社づくりでそこを何より大切にしています。当社では正社員として新規雇用でいきなり入る人はおらず、業務委託の方に、正社員にと声を掛ける形を取っていて、正社員は現場をよく知る人ばかりなので、その点でも良い方向に作用していると自負しています。

——合理的で無理のないやり方ですね。きっと社長のお人柄が良い人材を引き寄せているんですよ。

そうであれば嬉しいですね。私は昔から人と関わるのが好きなので、時間があれば現場に顔を出しますし、皆で飲みにも行きます。ですから私は社長と言ってもスタッフとは距離が近いと思っています。そうやって顔を合わせ、不満があれば聞き、できるだけ応えるように心がけています。

——スタッフさんへの愛情が職場環境に出ているんでしょうね。先ほど見かけたスタッフの皆さんの表情が明るく、とても好感が持てました。

運送業は思いのほか人と接する仕事でして、半分は接客業のようなものです。幸い、当社に来てくれるスタッフは良い方ばかり、それが現場の居心地の良さの一因なのでしょうね。スタッフの明るさはとてもありがたいです。やはりこのコロナ禍ですから、お客様に迷惑を掛けないように、またスタッフの安全のため、人と会う時には細心の注意を払い対策しています。幸い仕事のほうは大きなダメージを受けておらず、世間では職種によっては深刻な状況にある中で、当社はまだ良いほうだと思います。

——それは良かったです。良い人材に恵まれていると言うことですから、この状況も必ず乗り越えられますよ。

社名の『T-TRAD』の「T」は「チーム」の意味で、「伝統」という意味の「TRAD」と合わせました。伝統のある会社、長く続く会社にしたいと、スタッフと話し合って決めたんです。コロナ禍で大変な状況ですが、チーム一丸となって乗り越えたい。そして、いつか私も引退する日がくると思いますが、そうなっても誰かが私の後を継いで会社を存続させてほしいですね。

代表取締役

廣瀬 竜也

千葉県船橋市出身。運送業を営んでいた父親の影響で乗り物が好きになり、学業修了後、船橋の運送会社に就職。20代で独立し、そこから実績を積み規模を拡大、2019年に法人化した。現在は100名を超えるスタッフを率い、事業に邁進している。

check Point

仲間と一緒に これからも走っていく

●運送会社を営む父親の背中を見て育ち、自身も学業修了後同じ業界に入った廣瀬社長。残念ながら、お父様は15年以上前に他界してしまったが、同じ仕事を続けているご子息の活躍を嬉しく思っているに違いない。

●乗り物が好きな社長にとって、運送業は様々なところに行けるのが何より楽しいのだそうだ。そんな社長は先日、普段は馴染みのない富山県にスタッフとトラック3台で荷物を届けに向かった。道中、その土地の美味しいものを食べ、日本海を見て、お土産を選んで買って帰ってきたのだという。仕事ではあっても、仲間とちょっとした旅気分が味わえる、そんな一瞬の楽しみも運送業の魅力であり醍醐味なのだとか。これからも仕事の依頼に応じて全国各地、様々な場所に行くことだろう。新たな土地へ向かうたび、大切な仲間との思い出も増えていく。社長は、やっぱりこの仕事が好きで、仲間と一緒に走っていきたいと思っている。

Commemorative Photo

© 2021 USP-Management Co., Ltd.